

明日という題名で、今日の大塚ことよこまいる

明日

谷川俊太郎

〈思想性(哲学性)〉

わがままな、ささやかな、個人的な

ひとつの小さな約束があるといいい

Q why? what for?

明日に向かむって for

すくなく(仕事・勉強)「公」

目まぐるしく余暇

内容(目的や予算...)は重要ではないから

そこで出会う古い友だちの新しい表情

だから古い友だちの「新しい表情」と出会う

私の明日を受け合おう

ひとつの小さな予言があるといい

「明日の存在を、明日がある(来る)ことを信じて

明日を信じて

非日常性のイメージ

実視できぬもの

テレビの画面に現れる雲の渦巻き

控えてみてしやがな

曇りのち晴れ 天気予報のつましい口調

信じてるから大げさに言わない、テレビの画面を現実と思ってるから驚かない

何を願う?

ひとつの小さな願いがあるといい

想像して

明日を想おもって

遠足など

夜の間に支度する心ときめき

もう耳に聞く風のささやき、川のせせらぎ